

教育研究業績書

2017年10月20日

所属：心理・社会福祉学科

資格：准教授

氏名：前田 美也子

研究分野	研究内容のキーワード
社会福祉学	ソーシャルワーク、地域福祉、女性福祉、生きがい支援
学位	最終学歴
博士（社会福祉学）、修士（社会福祉学）、学士（フランス文学）	龍谷大学大学院 社会学研究科 社会福祉学専攻 博士課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 福祉教育プログラムの企画とプレゼンテーション	2014年	地域福祉論の授業を通じて、子どもを対象とした福祉教育プログラムをグループで企画し、まとめたものをプレゼンテーションをおこなった。授業に社会福祉協議会の現役職員と銀行の人事担当者を招き、コメントをいただき、学生のモチベーションを高めるために優秀プログラムを選定してもらった。
2. 地域福祉計画の検討と地域プログラム企画	2014年	学生が自分の地域の地域福祉計画を分析したうえで、地域課題を解決するための地域プログラムを企画し、各自がプレゼンテーションを実施する。自らの地域をテキストとしてとらえ、実践的に学び、主体的にプランニングに参画することができる専門的力量を育むことを目的としている。
3. 地域福祉プログラムの企画	2012年	社会福祉士の実習先である社会福祉協議会の了解のもと、計画を検討し、地域の課題解決のためのプログラム企画、小グループごとにプレゼンテーションを実施した。学生間の相互評価後、企画を専門機関に提案し、将来の活動に取り入れてもらうための働きかけをするなど専門職としての実践力の修得をめざしている。
4. ロールプレイを取り入れた授業実践	2011年	社会福祉援助技術演習Ⅰにおいて、ペアワークやロールプレイなど小グループでの対人援助技術の習得に向けて授業の展開を工夫した。表現すること、ともに授業を作り上げることを強化した。
5. キャリア形成のためのポートフォリオ作成	2011年	必修新科目「女性のライフステージとキャリア」において、早期からポートフォリオ作成を行い、ライフプラン、キャリア形成の動機づけを行った。上級学年学生の内定報告、キャリア支援員の助言も授業に組み込んだ。
6. 地域福祉推進計画と地域プログラム開発	2011年	地域福祉論及び援助技術演習Ⅱにおいて地域の最新の地区福祉計画を検討し、課題解決のためのプログラム立案を個人とグループで作成し、社会福祉協議会に提案した。FBを受け、地域実践としての具現化をめざす。
7. マルチメディア機器を利用した授業方法	2011年	マルチメディアを使用し、授業に適切な教材を活用して、講義内容をわかりやすく工夫した。コメントカードを活用し、学生の関心について毎回、具体的に把握した。
8. ロールプレイを取り入れた授業実践	2010年	社会福祉援助技術演習Ⅰにおいて、ペアワークやロールプレイなど小グループでの対人援助技術の習得に向けて授業の展開を工夫した。表現すること、ともに授業を作り上げることを強化した。
9. 地域福祉推進計画と地域プログラム開発	2010年	地域福祉論及び援助技術演習Ⅱにおいて地域の最新の地区福祉計画を検討し、課題解決のためのプログラム立案を個人とグループで作成し、社会福祉協議会に提案した。FBを受け、地域実践としての具現化をめざす。
10. マルチメディア機器を利用した授業方法	2010年	マルチメディアを使用し、授業に適切な教材を活用して、講義内容をわかりやすく工夫した。コメントカードを活用し、学生の関心について毎回、具体的に把握した。
11. 初期演習による基礎的発表力とコメント力の習得	2010年	ポートフォリオ及び自由課題レポート作成を行い、個人としての気づきとキャリア形成、他者との相互作用による自己覚知と成長をめざし、プレゼンとコメント、進行などのスタッフワークを経験的に学ぶ機会を設定した。
2 作成した教科書、教材		
1. ソーシャルワークのパワー	2012年3月	社会福祉専門職をめざす学生および現職の福祉職を対象とした研修用の教材である。ソーシャルワークの使命と責任、基本的信念と原則などについて、解説を加えている。共同研究者とともに、日本語と韓国語で作成し、国内、韓国国内での専門職研修にも活用した。
2. 相談援助の基盤と専門職	2011年03月	国家資格である社会福祉士養成課程の指定科目「相談援助の基盤と専門職」（本学科目「ソーシャルワーク概論A B」）のテキストを共同で作成した。筆者の執筆した章は「権利擁護とアドボカシー」である。

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
3. 高齢者の生きがい高揚のための世代間交流講座の教材づくり	2010年03月	生きがいコミュニティ講座で実際に活用したものも含めて、高齢者や手に障害のある人でも気軽に学べる「かんたんおやつレシピ」を食物栄養学科の教員と協働で発行し、関係者に配布した。
4. 高齢者の生きがい高揚のための世代間交流講座の教材づくり	2010年03月	生きがいコミュニティ講座で実際に活用したものも含めて、高齢者や手に障害のある人でも気軽に学べる「かんたんおやつレシピ」を食物栄養学科の教員と協働で発行し、関係者に配布した。
5. Web-CTを活用した社会福祉士国家試験対策平成19年度版	2007年10月	はじめて開発した自主学習用の国家試験の過去問題の練習を本学のミュキャンシステムを利用しておこなう教材を加筆・修正した。過去問題を繰り返し解くことができ、学習履歴も確認できるようになっている。
6. 電子教材「ソーシャルワーカーのためのコミュニケーション技法」	2007年04月	社会福祉実習前教育のひとつとしてのコミュニケーションの基礎技術を習得するための教材である。本学のミュキャンシステムで動画、静止画、レジュメ、ミニ講義、フィードバックシートなどが備えられている。
7. 電子教材「上手な話し方」	2007年04月	国際組織の日本支部でコミュニケーション技術を研修している女性グループの協力のもと、学生がスピーチ、面接を中心に実演し、個別評価を入れて教材化した。プレゼンテーションの基本が身につく自己覚知に活用。
8. ミュキャンを活用した社会福祉士国家試験対策	2006年10月	社会福祉士国家試験の過去問題をミュキャンを利用しe-learningを可能にするため電子教材化した。本事例は、私立大学情報教育協会社会福祉教育IT活用研究委員会でも報告し、同協会の雑誌にも執筆した。
9. ソーシャルワーカーのためのコミュニケーション技法	2006年07月	ミュキャンを活用した電子教材を学生参加により開発した。授業での活用と同時に、私立大学情報教育協会のIT活用委員会でも報告し、同協会の雑誌やFD用の報告書にも執筆した。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 大韓民国保健福祉部地域児童センター中央支援団研修	2015年3月18日	貧困児童支援対策としてサービス提供をおこなっている地域児童センターが韓国には4000か所以上存在するが、それらを指導・監督する中央支援団の幹部研修・支部長研修をソウルにおいて日本語及び韓国語にて実施した。
2. 社団法人小さな愛の分かち合い会 専門職研修	2015年3月17日	韓国における地域児童センターの最大のアドボカシー専門職団体である社団法人においてソーシャルワーカーを対象とした専門職研修を日本語及び韓国語でヨンサン市にて行った。
3. 「地区ボランティアセンターコーディネイター養成講座」講師	2012年11月～2015年10月	西宮市社会福祉協議会が実施している同上の養成講座の講師を務めている。テーマは、現代社会における身近な社会福祉の課題について共通認識を深めるものである。一連の養成講座の第1回目を担当しており、地区ボランティアセンターコーディネイターの問題意識を高揚し、解決するべき方向性を探ることを目的としている。
4 その他		
1. 社会福祉コース4年生国試対策担当	2015年4月1日2016年3月31日	2015年度の4年生に対する国家試験対策委員会の代表を務め、国家試験対策委員のとりまとめ、各種対策講座等の支援をしている。
2. 社会福祉コース2年生国試対策委員会 担当	2014年9月2015年3月31日	2014年9月より2年生対象の支援として、初めて発足した国家試験受験対策プログラムである。2年生の積極的・主体的な学生からの要望に応え、国家試験対策に関する自主勉教会の立ち上げ支援、教育的支援、環境整備支援等を実施している。
3. 社会福祉コース3年生国試対策委員会 担当	2014年4月1日2015年3月31日	2014年度からの3年生に対する初めての試みとして、国家試験対策委員会を結成し、3年生ゼミ単位での自主勉教会の活性化促進、助言、環境改善支援等を行い、定期的に委員会を開催している。
4. ウィンドサーフィン同好会 顧問	2014年～現在	学友会運動部委員会 ウィンドサーフィン同好会の結成にあたり、学生からの要望を受け、顧問を引き受けた。
5. 鳴尾東地域 お片づけ隊 コーディネイター	2011年6月～現在	西宮市社会福祉協議会からの依頼により、本学の社会福祉コースの学生有志が鳴尾東地域に在住する独居高齢者、高齢者のみの世帯に対する日常生活支援を年2回（6月と12月）実施している。筆者は本活動に関する学生への指導およびコーディネイターの役割を担っている。参加学生は地域の見守りネットワークの重要性を実践的に学び、社協、地域包括支援センターなどの専門機関と民生委員、自治会、老人クラブなどのボランティアが協働的に支援することの意義を考察する。結果として、専門職への動機づけを高め、就職先として地域福祉分野での活躍がめざましく、国家試験の合格にもつながっている。
6. 阪急西宮Xマンション助け合い相談室 支援	2004年から2006年	西宮市内のマンションの管理組合からの依頼により、独居の後期高齢女性への支援活動を地域福祉に関心のある学生とともに実践した。具体的には管理組合役員への助言、学生による独居高齢女性への定期友愛訪問、余暇活動支援、日常生活支援、事例検討会の実施、ニュースレ

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
		ター発行などである。教育的効果として参加学生の地域高齢者支援への関心が高まり、現場実習の充実、国家試験合格、高齢者相談援助、地域福祉分野への就職など学生のキャリア支援につながった。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 精神保健福祉士（国家資格） 2. 社会福祉士（国家資格）		

2 特許等		

3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 養父市男女共同参画アドバイザーおよびアンケート分析	2015年3月31日	養父市の男女共同参画プランのアドバイザーとして、改訂にともなうアンケート調査（養父市実施）の結果についての分析をおこない、『男女共同参画に関するアンケート調査報告書』を執筆し、第3次プラン改訂に向けての課題を提示した。
2. 釜山地域発展のための地域福祉力構築シンポジウム	2013年7月9日	韓国の釜山広域市内で開催された児童福祉・青少年関係の研究、行政などが共催して開催された学術シンポジウムにおいて、日本における地域児童支援サービスの課題と社会福祉政策の動向について発表した。専門機関、住民代表、行政、区長、市長、国会議員などが出席し、報告書が出版された。
3. 釜山広域市影島区 地域社会福祉計画策定委員会アドバイザー	2013年4月1日2014年3月31日	在外研修員として1年間韓国に滞在していた間に、地域社会福祉計画の新たな策定委員会の担当部局長からのヒヤリング、策定委員会ワークショップに招かれ、アドバイザーとして意見を求められた。
4. 在外研修員（長期）	2013年4月1日から2014年3月31日	韓国釜山広域市にある釜山大学校（Busan National University）に受け入れていただき、客員研究員として、1年間実践研究を実施した。研修課題は「韓国における地域児童センター実践モデルの開発および地域福祉力形成のためのシステム構築研究」である。

4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要

1 著書				
1. 地域福祉力の構築	共	2015年2月7日	ソジン図書	貧困児童・家族を対象とした地域福祉サービスの展開について、韓国で筆者らが取り組んできた理論と実践についてまとめたものである。本書を韓国地域児童センター中央支援団の幹部研修、専門職研修で使用した（韓国語）。全175頁 夫聖来・前田美也子
2. 相談援助の基盤と専門職	単	2011年03月	学文社	加納光子・成清美治編著『相談援助の基盤と専門職』（社会福祉士養成講座シリーズ）の中で、「権利擁護とアドボカシー」に関する章を担当した。米国の法制度の変遷、アドボカシー活動の展開、日本における法制度の展開と現在の社会福祉サービスについて検討した。
3. 相談援助の基盤と専門職	単	2010年03月	学文社	ソーシャルワークと権利擁護の関係について整理したうえで、相談援助における権利擁護の概念と範囲、国内外の動向に触れ、日常生活自立支援事業、成年後見事業などについて解説した。
4. オンダルセム物語～東三洞地域児童センターの実践	共	2009年04月	ブスロギ図書出版	科学研究費の補助金研究を通して、2005年3月に設立した貧困児童・家庭のための地域福祉サービス/支援拠点である地域児童センターについて、コミュニティ実践理論の枠組みのもとにどのような取り組みを展開してきたのか、その過程と課題をまとめたものである。前田美也子 Sung Lai Boo
5. ソーシャルワーカーのための病院実習ガイドブック	共	2007年06月	勁草書房	医療機関におけるソーシャルワーク実習指導者用、また学習者用のテキストとして総合的・包括的な視点から編集されたものである。制度、サービスの詳述に加えて、事例検討、コラムなどを取り入れ、医療福祉の専門職を養成するために必要とされる実践的な内容と構成になっている。 村上須賀子、竹内一夫、横山豊治、前田美也子
6. コミュニティ・ソーシャルワークの基礎～ソーシャルワーカーは地域をどのように変えていくのか	共	2002年	トムソンラーニング/成美堂	ウィリアム G・ブルーグマン、スン・レイ・プー、前田美也子 Thomsonラーニングソーシャルワーク実践シリーズの第1巻目である。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2 学位論文				
1. アメリカにおける高齢者虐待対策研究～社会福祉政策分析からの接近	単	2000年11月	龍谷大学	アメリカにおける高齢者虐待問題とその対策をソーシャルワークにおける社会福祉政策分析の方法により考察した。連邦法・州法の分析をはじめ、地域レベルでの対策の理論的・政策的背景と生成過程を明らかにし、現行制度の相互補完性と二重構造によるソーシャルワーク実践上の問題点と今後の課題を提示した。
3 学術論文				
1. 日本における地域児童支援サービスと福祉政策の動向	共	2013年7月	釜山地域発展のための地域福祉力構築、131-144頁（韓国語）、145-154頁（日本語）	近年日本で推進されている社会保障と税の一体改革、また地域を基盤とした子ども・子育て支援関係の新制度、子どもの貧困対策法、いじめ防止対策法など新たな制度・政策について論点整理をし、日本のビジョンおよび課題についてまとめたものである。そのうえで、日韓の少子高齢化の進展比較、日本に先駆けて成立した韓国貧困児童対策法や家族政策の動向についても論じた。前田美也子・李蓮
2. 地域福祉力構築のための韓国固有のモデル	共	2013年7月	釜山地域発展のための地域福祉力構築、92-103頁（韓国語）、104-121頁（英語）	区庁長との度重なる協議の中で合意した地域福祉力構築に向けて、地域資源の活用、地域の文化的理解、固有文化の地域福祉への応用についてモデルを提示した。夫聖来・魚ユンテ・前田美也子
3. 福祉社会の影島実践モデルとともに創造し、釜山全域に発信する	共	2013年7月	釜山地域発展のための地域福祉力構築、58-72頁（韓国語）、73頁-87頁（日本語）	2004年以来、研究対象としてきた影島区の地域資源の分析をふまえて、区内で最初に設立した地域児童センターを事例として、これから展開するべき実践モデルを提示した。影島区が釜山市内で最も貧困化が進み、教育レベル、生活レベルも低迷していることから、貧困地域改善の支援拠点としてのセンターのあるべき姿についても展望した。夫聖来・前田美也子
4. 地域社会共同体を問う	単	2013年12月	水のごとく、風のごとく、第7号、三修会、61-76頁、世宗出版社	なぜ、今、地域社会共同体の再構築が必要であるのか」について、これまでの実践をもとにコミュニティソーシャルワークの直接的/間接的支援、個別的/地域的支援の視点から論じたものである。
5. Integration of the Principles of TURE into a Model for Contemporary Social Work Practie in Korea	共	2011年03月	兵庫大学論集	Sung Lai Boo, 前田美也子 韓国における共同体実践の単位であった「トゥレ」の目的、理念、実践原則を現代的なコミュニティを基盤としたソーシャルワーク実践に応用し、統合したモデルを提示した。本研究は、科学研究費補助金研究成果の一部である。
6. Integration of the Princioles of TURE into a Model for Contemporary Social Work Practice in Korea	共	2010年03月	兵庫大学論集	Sung Lai Boo, 前田美也子
7. 学士課程におけるソーシャルワーク教育の課題	共	2009年03月	兵庫大学論集	Sung Lai Boo, 前田美也子
8. 地域児童センター・オンダルセム利用児童満足度調査に関する分析	共	2008年	東三洞地域児童センター・オンダルセム	前田美也子, Sung Lai Boo
9. 東三洞地域共同体形成のための地域福祉力構築の戦略	共	2008年	東三洞	前田美也子, Sung Lai Boo
10. 貧困児童青少年のための総合的支援システム提案	共	2008年	韓国国会議員連盟貧困撲滅研究フォーラム	前田美也子, Sung Lai Boo
11. 韓国の貧困地域における子コミュニティ実践モデルを活用した子ども・家庭支援システム研究	共	2007年03月	科学研究費補助金研究成果報告書	前田美也子, Sung Lai Boo
12. イギリスにおける中間ケア評価	単	2007年03月	イギリスにおける医療・福祉サービス連携による質確保と予算管理システムに関する研究（平成16年度-18年度科学研究費補助金研究成果報告書）	前田美也子
13. 韓国の貧困児童問題と地域福祉力構築～協働体形成と地域児童センター設立過程を中心に	共	2006年	貧困児童	前田美也子, Sung Lai Boo
14. ソーシャルワーカー養成のための教育コンテンツの開発と応用	単	2006年	大学教育と情報	前田美也子
15. 東三洞・青鶴洞地域児童センター実践研究	共	2006年	韓国	前田美也子, Sung Lai Boo
16. Web-CTによるコミュニケーション技術体験授業	単	2006年	ファカルティ・ディベロップメントとIT活用	前田美也子
17. コミュニティとは何か	共	2006年	韓国の貧困児童と地域福祉力の構築	前田美也子, Sung Lai Boo
18. 地域福祉力と脆弱な子ども・家族	共	2005年	Leftover Love Sharing	前田美也子, Sung Lai Boo

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
支援システム構築～概念・特徴・戦略			Community	
19. ジェネラリスト・ソーシャルワーク実践と専門職の力量	共	2005年	韓国社会福祉研究	Sung Lai Boo, 前田美也子
20. ソーシャルワーク教育におけるカリキュラム目標の概念的枠組みの提案	共	2004年03月	吉備国際大学 社会福祉学部研究紀要 9号	スン、レイ、プー・前田美也子・錦織毅夫 ソーシャルワーク教育の目標についての問題点を検討した上で、カリキュラム開発において最も重要であるカリキュラムの目標に関する概念的枠組みを提案した。特に、教育目標を設定するための方法について検討しながら、ソーシャルワーク教育の目標、カリキュラム開発、教授法の関係性と一連の過程についての分析枠組みを示すことを中心として論じた。全 (pp. 15)
21. ソーシャルワーク・カリキュラムの目標と内容分析	共	2004年	弘益齋・韓国社会福祉の課題と対応	スン・レイ・プー、前田美也子
22. ソーシャルワーク教育におけるカリキュラム目標の概念的枠組みの提案	共	2004年	吉備国際大学社会福祉学部研究紀要	前田美也子、スン・レイ・プー、錦織毅夫
23. アメリカ社会保障法における脆弱な高齢者への福祉サービスの展開	単	2003年08月	社会政策論叢 15号	連邦法である社会保障法タイトルXX社会サービス一括補助法に着目し、法の理念と目標に照らし合わせ、高齢者サービスの基本的な考え方および具体的展開に関して、脆弱な高齢者への地域を基盤とした福祉サービスの視点から分析した。そして、ミクロからマクロまでの各レベルにおけるソーシャルワーカーによるコミュニティ・サービスプログラムを高齢者の権利保護および予防的視点から考察し、現状と課題を提示した。また、わが国における地域を基にした高齢者福祉の推進についての示唆をおこなった。全 (pp. 33)
24. ソーシャルワーク実践における「社会正義」の意味	共	2003年08月	社会政策論叢 15号	SUNG LAI BOO・前田美也子 伝統的に「社会正義」はソーシャルワークの使命の中心に据えられ、ソーシャルワークの核となる価値、目標あるいはその特徴を定義づけるものとされている。本論文ではソーシャルワーク専門職における社会正義のルーツをたどり、ソーシャルワーク実践に関連する社会主義の基本的意味について整理・分析した。その上で、実践現場における社会正義の理解を高め、ソーシャルワークの価値と社会正義を実践に結びつけることの重要性を示し、その展開に言及しながら、他の専門職とは異なるソーシャルワークの固有の使命について論考した。全 (pp. 32)
25. アメリカにおける高齢者虐待防止制度～その二重構造と課題	単	2003年05月	日本社会保障法学会誌 社会保障法 18号	アメリカの高齢者虐待防止制度について、連邦法と州法の法制上の基本構造を政治過程、法制化過程を選別性と普遍性の原理を鍵概念として分析し、対策上の二重構造を明らかにした。その上で、構造的な諸問題を検討しながら、その功罪を明示した。特に、現行法上の虐待防止プログラムに関して、「計画」と「調整」機能に着目し、連邦政府の役割強化の視点から、今後の課題を提示し、わが国への示唆をおこなった。全 (pp. 14)
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. 韓国における地域児童センター設置の成果と課題～法制化から10年を経て見えてきたもの	単	2015年9月	日本社会福祉学会	
2. A市における小地域と大学の協働による地域の支え合い活動	単	2015年8月	日本社会福祉教育学会	
3. 高齢者と大学生による生きがいコミュニティ講座実践～教育的効果と課題	単	2015年10月	日本福祉文化学会	
4. 韓国における地域児童センター実践とリーダーシップフェミニスト・ソーシャルワークの視点	共	2010年10月	日本社会福祉学会	前田美也子, Sung Lai Boo 本発表は科学研究費補助金研究成果の一部である。科研費研究により2005年に設置した実践拠点である韓国釜山広域市内の児童福祉施設「地域児童センター」の運営面に影響を与えているリーダーシップのあり方をフェミニストSWの視点から児童・家族・関係者への聞き取りに基づき考察した。
5. 大学は地域福祉力向上のためにいかに資するのか?～生涯福祉教育センターの活動より	共	2009年10月	日本社会福祉学会	大学の研究所附属の生涯福祉教育センターの理念と基本的方針について述べながら、地域住民、関係機関、専門職などと連携をした地域密着型のプログラムと国際的プログラムの開発と実施運営について現状、意義、課題等を分析した。 井上浩, Sung Lai Boo, 前田美也子

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
6. 社会福祉士養成課程における教育カリキュラムの課題～国際ソーシャルワーカー連盟の定義との関連	共	2008年10月	日本社会福祉学会	国際ソーシャルワーク協会における定義はグローバルな水準により設定されているが、日本の社会福祉士養成課程におけるカリキュラムには反映されていないことも多い。グローバルスタンダードから乖離した日本独自の養成課程の現状を批判的に検討し、今後の課題を提示した。 前田美也子, Sung Lai Boo
7. 韓国の貧困地域における子ども・家庭支援システム構築研究～地域児童センター設立の意義と課題	共	2007年09月	日本社会福祉学会	科研費による研究成果の一部を報告したものである。貧困地域における子どもと家庭支援システムとして、アクションリサーチによる地域児童センターを設置して以来、2年間の実践を批判的に検討し、到達点と今後の課題を明らかにした。 前田美也子・Sung Lai Boo
8. 韓国の貧困児童問題と地域福祉力の構築	共	2006年06月	日本社会福祉学会	科研費による研究成果の一部を報告したものである。地域の貧困問題の解決にあたっては地域福祉力の構築が必要であるということを経験的に明らかにした。 前田美也子, Sung Lai Boo
9. 農村小都市生活圏におけるコミュニティ実践モデルと協働による女性力の形成	共	2005年11月	日本福祉文化学会	科研費による研究成果の一部を報告したものである。農村小都市生活圏におけるコミュニティ実践モデルの検討を行ったうえで、女性のリーダーシップ形成のための養成プログラムを開発、実施した結果、その効果と課題について考察した。 前田美也子 Sung Lai Boo
10. 韓国の貧困地域における子ども・家族支援システム構築に向けて～協働体形成と地域児童センター設立過程を中心に	共	2005年10月	日本社会福祉学会	科研費による研究成果の一部を報告したものである。貧困地域におけるアクションリサーチにより地域実践した結果、貧困児童・家族支援サービス拠点を設立したが、そのプロセスにおいて特に協働体形成に焦点をあてながら問題点と今後の課題を提示した。 前田美也子, Sung Lai Boo
11. 韓国の貧困地域における子ども・家族支援システムのための協働体の構築	共	2004年10月	日本社会福祉学会	科研費による研究成果の一部を報告したものである。貧困地域における子ども・家族支援システムの構築に向けてのプロセスをコラボレーションモデルにより筆者らが実践した結果を批判的に考察し、今後の課題を提示した。 前田美也子、スン・レイ・ブー
12. 女性組織化の原則とリーダーシップ機能のジレンマ	共	2003年10月	日本社会福祉学会	SUNG LAI BOO・前田美也子 女性のソーシャルワークの視点によるコミュニティ実践理論に焦点をあて、女性組織化の原則を検討し、組織化におけるリーダーシップ機能の課題を明らかにすることを目的とした。筆者らが実際に数ヶ所の地域で企画立案、実践をした女性リーダーシップセミナーでの評価を分析しながら、リーダーシップ機能をめぐるジレンマを検討し、今後の実践上、教育上、研究上の課題を提示した。
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 地域児童センター中央支援団 幹部研修	共	2015年3月18日	韓国保健福祉省委託事業 全国地域児童センター中央支援団 幹部スタッフ研修会「地域福祉力構築」	前田美也子、夫聖来
2. 貧困児童支援担当幹部職員への研修	共	2015年3月17日	(社) 小さな愛の分かち合い会 (韓国ソウル)	前田美也子、夫聖来
3. 身近な社会福祉について考えよう	単	2015年10月30日	西宮市地区ボランティア・コーディネーター養成講座 西宮市社会福祉協議会	
4. 地域児童センター幹部研修	単	2015年10月16日	地域児童センター中央支援団 (韓国保健福祉省委託事業) 幹部およびソウル広域市内地域児童センター長、(社) 小さな愛の分かち合い会幹部スタッフを対象とした合同研修会	日本における福祉政策の動向と生活困窮者を対象とした新支援制度
5. 詩集『光と影』	共	2014年5月	日本語訳、図書出版ブスロギ	韓国におけるキリスト教ソーシャルワーカーとして、ソウル特別市最大の貧困地域に住み込みながら地域開発に取り組み、数々のソーシャルアクションを展開し、貧困児童・家族支援のための法制化に取り

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 女性研究者支援センター シンポジウム	共	2014年12月6日	女性研究者支援センター シンポジウム	組んできた著者（姜命順・鄭明基）の苦悩・葛藤・希望・使命などを表現した「詩」を日本語に共同で翻訳したものである。生命をかけながら、貧困児童救済のための福祉の道に邁進したエネルギーはどこから来たのか、「魂の叫び」とその「支え手」となるものに触れることができる作品である。今回の詩の中には、これまでの実践を振り返りながら日本を旅し、そこで自ら撮影した写真とともに生まれてきたものもある。日本を愛する著者らの想いが、美しい日本の自然風景を撮った写真からも伝わってくる。前田美也子・李徳京
7. 身近な社会福祉について考えよう	単	2014年11月	西宮市地区ボランティア・コーディネーター養成講座 西宮市社会福祉協議会	育児・介護部門リーダーとして、3年間の事業成果と課題について報告した。
8. 児童と家族のための新しい支援ネットワーク構築の考案～影島区地域福祉力構築のための実践モデル開発	共	2013年7月	釜山地域発展のための地域福祉力構築	影島区の貧困児童および家族支援の拠点としてのセンターの運営にとどまらず、新たな地域福祉の支援ネットワークとしての機能と役割を備えたセンター構想について、行政としての立場から、福祉機関としての立場から議論した結果をまとめた研究資料である。前田美也子・夫聖来・魚ユンテ 88-91頁
9. 子どもの未来を構築する地域児童センター＜オンダルセム＞	単	2013年12月	水のごとく、風のごとく第7号、三修会、世宗出版社	釜山地域を中心とした多様な分野の研究者が会員の研究会誌に特別会員として寄稿することを依頼され、影島区で取り組んできた児童福祉実践研究に対する思いを表現した散文である。54-60頁
10. 生きがいコミュニティ講座	共	2011年から2014年度	高齢者栄養科学研究センター、栄養科学研究所 高齢者部門	高齢者の生きがい支援を目的として、社会福祉専攻の教員と学生、また食物栄養専攻の教員と学生が協働してプログラムを企画開発した。具体的には独居高齢者応援メニューを管理栄養士である為房先生が開発し、学生と独居高齢者がともに食事を作り、コミュニケーションを活発化させ、世代間交流型の生きがい高揚を図る場を地域福祉のアプローチにより運営をした。関連専門職の連携の重要性を体験的に学生が学び、講座の成果として、独居高齢者の評価を得た。前田美也子、為房恭子
11. 姫路市男女共同参画プラン推進懇話会委員および刊行物表現調査部会委員として平成16年度に続いて市の全部局の刊行物、HPをすべて審査し、その結果を「市民向け刊行物等の表現に関する調査報告書」にまとめた。		2010年		
12. 高齢者栄養科学研究センター主催の生きがいコミュニティ講座を社会福祉士と管理栄養士の協働プログラムとして開発・実施した。福祉と食物専攻の学生が参加し、世代間調理実習のためのレシピ集を作成した。		2010年		
13. 鳴尾地区ひとり暮らし高齢者生活アンケート及び面接・訪問調査を実施し、結果を高齢者栄養科学研究センター公開シンポジウム、地域フォーラムなどで発表した。		2010年		
14. 武庫川女子大学高齢者栄養科学研究センター 研究員（地域生きがい支援ネットワーク部門リーダー）として、約1,000人を対象とした西宮市鳴尾地域の70歳以上の独居高齢者の実態調査（アンケート・面接）を実施した。		2010年		
15. 「学士力を実現するための情報活用能力：社会福祉学教育」をテーマに、2010年度教育改革ICT戦略大会（私立大学情報教育協会）にて、発表した。（2010年9月、アルカディア市ヶ谷）		2010年		
		2010年	(社) 私立大学情報教育協会	(社) 私立大学情報教育協会社会福祉委員会委員長として「社会福祉学教育における情報教育のガイドライン」「学士力に関する提案」などをとりまとめ「大学と情報」第19号に掲載された。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
17. 一里山荘生きがい支援プログラム	共	2010年	高齢者栄養科学研究センター 生きがい支援部門	科研費分担研究として、地域にある軽費老人ホームに介入し、介護予防のためのヘルスアセスメントを世代間交流型により実施し、地域で活躍できる社会福祉士と管理栄養士、運動指導士養成をめざした。前田美也子、為房恭子、北島見江
18. 高齢者栄養科学研究センター主催の「生きがい講座」の企画・運営に基づき、地域プログラム開発の理論と実践をわかりやすくまとめた福祉関係の専門職者や地域の企画者向けの手引きを作成した。		2010年		
19. 鳴尾地区ひとり暮らし高齢者生活実態調査（高齢者栄養科学研究センター生きがい部門）の実施（アンケート調査、集合面接調査、訪問面接調査）		2009年		
20. 高齢者栄養科学研究センター主催の生きがいコミュニティ講座の教材「かんたんおやつレシピ」		2009年		
21. 「高齢者の生きがいと世代間交流～ウェルネスに向かって」まちの寺子屋師範塾 兵庫大学 生涯福祉教育センター		2009年		
22. 「Productive Ageing: ポスト団塊世代の高齢者像」第1回目「高齢者に対するイメージの変革～AgeingからSageingへ」兵庫大学平成21年度生涯福祉教育センターオープンカレッジ		2009年		
23. 調査報告「鳴尾地区ひとり暮らし高齢者の生活アンケートよりの報告」武庫川女子大学高齢者栄養科学研究センター主催 平成21年度公開シンポジウム「高齢者の栄養と長寿のサイエンス」		2009年		
24. 平成21年度鳴尾地区地域フォーラム「ともに生きるまちづくり～高齢者の安心は地域の見守りから」コーディネイター 西宮市社会福祉協議会主催		2009年		
25. にしのみや生きがい講座in 六湛寺 高齢者栄養科学研究センター主催		2009年		
26. 生きがいコミュニティ講座 高齢者栄養科学研究センター主催		2009年		
27. スクールソーシャルワーク公開フォーラム「近未来のスクールソーシャルワーク：はりま地域からの発信～教育・福祉・地域の連携を目指して」シンポジスト 兵庫大学		2009年		
28. 「スクールソーシャルワーク研究とソーシャルワーカーの悩み」コメンテーター 兵庫大学生涯福祉教育センター主催		2009年		
29. 「スクールソーシャルワークの基本的要素」コメンテーター 兵庫大学生涯福祉教育センター主催		2009年		
30. 「兵庫県におけるスクールソーシャルワークの現状と課題」コーディネイター 兵庫大学生涯福祉教育センター主催		2009年		
31. 「Productive Ageing: ポスト団塊世代の高齢者像」第5回「成人のリーダーシップ開発と地域の組織化」平成21年度兵庫大学生涯福祉教育センターオープンカレッジ		2009年		
32. 公開シンポジウム「世代間交流型の生きがい講座を開催して」シンポジスト 高齢者栄養科学研究センター主催		2008年		
33. 生きがいコミュニティ講座 高齢者栄養科学研究センター主催		2008年		
34. '09ボランティアの井戸端会議in		2008年		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
カレッジ 「地域に開かれた大学とは？～新たなパートナーシップの形成に向けて」 東播磨県民局 兵庫大学				
35. 「彼女はなぜ社会福祉を学ぶのか～きっかけ、知識と技術、卒後の進路」 平安女学院高等学校		2008年		
36. 生きがいコミュニティ講座「世代間で語る人と食とのいい関係」 高齢者栄養科学研究センター		2007年		
37. 高齢者栄養科学研究センター公開シンポジウム座長		2007年		
38. 鳴尾地域高齢者支援ネットワーク会議 メンバー (高齢者栄養科学研究センターの地域関連部門のメンバーと社会福祉協議会、民生委員等関係者との合同ネットワーク会議)		2007年		
39. 日本医療ソーシャルワーク研究会全国大会 シンポジウム・コーディネーター		2007年		
40. 武庫川女子大学・関西文化研究センター主催 MKCRフォーラム・スピーカー		2007年		
41. 武庫川女子大学高齢者栄養科学研究センター 生きがい支援ネットワーク部門リーダー		2007年		
42. 武庫川女子大学高齢者栄養科学研究センター 平成19年度公開講座 研究発表座長		2007年		
43. 武庫川女子大学高齢者栄養科学研究センター 公開シンポジウム・シンポジスト テーマ「地域高齢者の生きがい支援ネットワーク」		2006年		
44. 韓国釜山市影島区貧困児童問題シンポジウム・シンポジスト	共	2006年～2013年	釜山広域市地域児童センター協議会 釜山広域市影島区	貧困児童・家庭福祉問題に関するシンポジウム、フォーラムなどを開催し、地域児童センター協議会、行政など関係機関の共催による啓発活動を実施している。
45. 韓国における生活困窮児童への地域福祉実践活動	共	2004年～現在	東三洞地域児童センター	科研費研究を通して設立した韓国釜山広域市東三洞地域児童センターの共同代表、韓国国会議員連盟貧困撲滅研究フォーラム専門委員などを経て、行政機関、児童家庭福祉機関、議員、住民組織等と連携しながら研究を進めている。

6. 研究費の取得状況

1. 科研費 基盤研究 (C) 新規	共	2016年4月～2018年度	日本学術振興会	<研究代表者>韓国の貧困児童に対する会食サービスによる地域自立支援モデルの開発
2. 科学研究費 基盤研究 (C) 継続	単	2011年	日本学術振興会	<研究代表者>韓国地域児童センター実践による地域福祉力形成と貧困脱却・自立支援モデルの開発
3. 科学研究費 基盤研究 (C) 継続	単	2010年	日本学術振興会	<研究代表者>韓国地域児童センター実践による地域福祉力形成と貧困脱却・自立支援モデルの開発
4. 科学研究費 基盤研究 (C) 新規	単	2009年	日本学術振興会	<研究代表者>韓国地域児童センター実践による地域福祉力形成と貧困脱却・自立支援モデルの開発
5. 科学研究費 基盤研究 (C) 継続	共	2006年	日本学術振興会	<研究代表者>韓国の貧困地域におけるコミュニティ実践モデルを活用した子ども家庭支援システム研究代表
6. 科学研究費 基盤研究 (C) 継続	共	2005年	日本学術振興会	<研究代表者>韓国の貧困地域におけるコミュニティ実践モデルを活用した子ども家庭支援システム研究代表
7. 文部科学省学術フロンティア推進事業 新規	共	2004年から2008年度	文部科学省	<研究代表者>小都市・農村生活圏における伝統行事と福祉コミュニティ形成に関する研究
8. 科学研究費 基盤研究 (C) 新規	共	2004年	日本学術振興会	<研究代表者>韓国の貧困地域におけるコミュニティ実践モデルを活用した子ども家庭支援システム研究

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2015年8月～現在に至る	(社)SST普及協会
2. 2014年12月12日から2017年3月31日	養父市男女共同参画プラン策定アドバイザー

学会及び社会における活動等

年月日	事項
3. 2012年4月から現在	社団法人世界貧困退治会附属世界貧困研究所 研究員
4. 2005年3月から現在	東三洞地域児童センター（韓国釜山広域市）設立代表
5. 2004年4月1日から2014年3月31日	（社）私立大学情報教育協会 社会福祉学教育IT活用研究委員会委員
6. 2002年4月から2012年3月	姫路市都市計画審議会委員
7. 2002年4月から2012年3月	姫路市男女共同参画プラン推進懇話会委員
8. 現在に至る	日本社会保障法学会
9. 現在に至る	日本社会福祉士会
10. 現在に至る	日本社会福祉学会
11. 現在に至る	日本精神保健福祉士協会
12. 現在に至る	日本福祉文化学会
13. 現在に至る	日本社会福祉教育学会